

2022年度事業報告

自 2022年7月1日 至 2023年6月30日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を实践しよう」
【基本認識】

<公益社団法人化10年の節目として>

2022年度が、大谷保育協会の「公益社団法人」化10年（2012年6月22日認可）の節目であったことから、まだまだ新型コロナウイルス対応の影響を受けながらも、協会が「公益社団法人」として存在する意義を再確認する年度となった。

<新研修テーマ「つたえる」の实践年度として>

第一に、2021年度の「第19回全国真宗保育研修大会」（期日：2021年7月3日（土）/会場：難波別院 御堂会館）において確認された新研修テーマ「つたえる」の实践として諸事業に取り組んだ。

各加盟園の乳幼児教育・保育現場での「つたえる」、関係学校の保育者養成課程での「つたえる」等、さまざまな場で研修テーマの共有を図った。

<協会内各機関における方向性の共有と連携 —「真宗保育」の言語化—>

また、2021年度から継続してきた三部門協議（真宗保育研究所、保育心理士会、研修部）においては、抽出された課題を踏まえ、保育者養成のテキストの具体化に向けて作業が行われた。

<あらためて公益社団法人として宗派事業にかかわる意義の確認を—宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の機会に—>

一般的には新型コロナウイルス後の社会像が活発に論議されはじめ、宗派においても教区再編や、行財政改革が目指されるなか、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要（以下、慶讃法要と表記）の場が、「真宗保育」を掲げる協会を展望する機会にもなった。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組む。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

さまざまな乳幼児教育・保育関係者との対話によって、「真宗保育」が広く公開されていくよう、「真宗保育について語れる人」の誕生を課題としている。

また、真宗保育カリキュラムの実践を、各種研修・広報などを通じ現場に還元する場を持つことで、乳幼児教育・保育経験を共有した。

③ 保育者養成のためのテキスト構想・作成

「真宗保育研究会」再開にあたって、保育者養成のためのテキスト作成を活動の基軸とする。養成校の協力をいただき、3年程度の取り組みとする。

テキスト作成の中心的役割は研究所が担い、今年度はテキスト構想について養成校に提示する。

保育現場を主な対象としてきた『真宗保育カリキュラム』との差異化を図り、例えば真宗保育と「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」との関連に触れたり、「人間」をキーワードに、保育と仏教、真宗との関連を述べることなどを想定する。仏教に初めて触れる学生も対象となる内容を目指す。

(2) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要関連事業に向けた取り組み

① 慶讃法要関連事業推進のためのプロジェクトの継続

協会諸事業にかかわる人材発掘の機会としてプロジェクトを継続した。今後も、加盟園の実践課題を踏まえた研修や交流の機会を持てるように計画する。

② 慶讃法要関連事業

第1期 大谷保育協会 親子で集う子育てセミナー

① 【記念講演会・シンポジウム】

期 日：2023年4月22日（土）

場 所：しんらん交流館大谷ホール

記念講演：土井善晴氏（料理研究家）

シンポジウム：土井善晴氏（料理研究家）

くわばたりえ氏（お笑いコンビクワバタオハラ）

鷹橋 賢淳氏（(公社)大谷保育協会常務理事/市橋保育園園長）

② 【子どもの遊ぶブース（防災ワークショップ）】

会 場：大谷保育園

内 容：着火体験・湯沸かし体験・ひっかけ棒チャレンジ

松ぼっくりタワー・薪ボーリング・学生、保育士による手遊び等

協 力：株式会社アンプラー・ジュインターナショナル(UPJ)

第2期 子どものつどいin東本願寺（真宗大谷派 青少幼年センター事業）

期 日：2023年5月5日（金・祝）

出遊ブース(公社)大谷保育協会出展内容：防災ワークショップ

協 力：株式会社アンプラージュインターナショナル(UPJ)

参加人数：4,000名

第3期 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業 全国真宗保育記念大会

記念大会テーマ：南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

総合テーマ：ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう

期 日：2023年5月13日（土）

会 場：ホテルグランヴィア京都

講 師：真城 義麿氏（真宗大谷学園専務理事）

対 象：保育者・設置者・園長等

内 容：記念講演会

担 当：京都支部・研修部

（3）研修テーマ「つたえる」の実践継続

第19回全国真宗保育研修大会で発表された新研修テーマ「つたえる」を協会の研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励した。

昨年度、保育者育成の核となる研修事業の多くが、オンライン開催となったが予想以上に参加をいただき、研修の中でグループ討議での意見交換も行い、有意義な機会となった。オンライン開催の研修は、参加に伴う日程調整や、距離的な問題等がクリアされるというメリットもあり、情報を共有し、対話するための効率的な手段となった。

しかし、オンライン研修が定着していく流れがある一方、対面型では、意見交換や協議において、相手との間合い、表情をより感じることができる。オンライン研修のみでは、私たちが直接経験することでしか得ることのできない学びが損なわれるのではないかという懸念もある。

今後、保育者のスキルとしても“対話する保育実践”を重要視し、新型コロナウイルス対応を十分に行ったうえで、対面型研修を志向していきたい。

2022年度下半期は、慶讃法要期間となるため、研修事業を通常より前倒しして実施した。

（4）保育心理士の育成並びに活動支援の充実

① 保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して2000年度より始まった保育心理士資格認定事業は、現在全国に4,096名の保育心理士を誕生させている。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には5年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

新型コロナウイルスの状況により講座開催への支障も予想されるが、オンライン開

催等の方策を推進し、保育心理士育成に滞りのないよう進めた。

②保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【(一種)同朋大学大学院、(二種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索した。

【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについて研究を引き続き行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性を図った。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1～3』の学術的表現への展開を図った。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察した。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図った。
- ④ 真宗大谷派学校連合会との共同事業である保育者養成のためのテキスト作成について、協議を進めた。2023年度「真宗保育研究会」の開催に向け、引き続き学校連合会と協議を進めながら、テキスト制作を進めていく。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第15回保育心理研究会

期 日：2023年1月22日（日）

会 場：真宗大谷派宗務所（オンライン併催）

記念講演：青木一永氏（社会福祉法人檸檬会副理事長、大阪総合保育大学非常勤講師、プロコーチ）

講 題：「幼保小接続にもつながる対話や保育デザインの工夫」

座 談 会：「青木先生とつながる場」

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える機会とした。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行った。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形 しんらんさま	550円	320円	-	329
うでわ念珠 青 子ども用	200円	140円	2,000	911
うでわ念珠 青 大人用	200円	148円	1,000	1,128
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200円	140円	1,000	730
うでわ念珠 ピンク 大人用	200円	148円	1,000	1,018
白念珠	120円	105円	1,000	689
念珠袋	280円	235円		740
おつとめちょう	100円	40円	-	1,610
真宗保育のカリキュラム入門	530円	240円	-	335
八女ちょうちん	180円	107円		0
しんしゅうこどもかれんだー	270円	238円		0
真宗保育の源流をたずねて	200円	186円	-	186
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500円	1,827円	-	775
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000円	859円	-	543
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000円	575円	-	1,093
こどものうた①「誕生」CD	500円	388円	-	107
こどものうた②「そだつ」CD	500円	337円	-	14
お誕生シール	100円	81円	5,000	3,313

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み— (芹沢俊介)	350円	125円	-	1,412
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座— (富岡量秀)	300円	165円	-	1,558
17. サガエさんの「講義ノート」—真宗保育編— (佐賀枝夏文)	250円		-	831

(2) 新教材の発行

- ①園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を制作した。
- ②宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業
記念教材「お誕生シール」制作・発行
発行部数：5,000枚
販売価格：100円(税別)
販売開始：2023年3月1日

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めた。

引き続き各連区・支部において、協会の研修に通底するテーマである「つたえる」での研修開催の奨励を行った。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

(1) 研究会・研修会事業

- ① 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業
「親子で集う子育てセミナー」

テーマ：今一度、あなた(自分)と再会してみませんか？

期 日：2023年4月22日(土)

【記念講演会・シンポジウム】

会 場：しんらん交流館大谷ホール

記念講演：土井善晴氏（料理研究家）

シンポジウム：土井善晴氏（料理研究家）

くわばたりえ氏（お笑いコンビクワバタオハラ）

鷹橋 賢淳氏（(公社)大谷保育協会常務理事/市橋保育園園長）

申込者数：①会場 155名・②YouTube ライブ配信申込数 57件

【子どもの遊ぶブース（防災ワークショップ）】

会 場：大谷保育園

内 容：着火体験・湯沸かし体験・ひっかけ棒チャレンジ

松ぼっくりタワー・薪ボーリング・学生、保育士による手遊び等

協 力：株式会社アンプラージュインターナショナル(UPI)

申込者数：19名

- ② 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業 全国真宗保育記念大会
記念大会テーマ：南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう
総合テーマ：ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう

期 日：2023年5月13日(土)

記念講演：真城 義麿氏(真宗大谷学園専務理事)

講 題：南無阿弥陀仏の保育

参加人数：239名

会 場：ホテルグランヴィア京都

内 容：記念講演・情報交換会

運 営：大谷保育協会京都支部

- ③ 仏教保育大学講座（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗出雲路派・真宗高田派共催/浄土真宗本願寺派当番）

第64回仏教保育大学講座(期間：2022年8月1日～4日)については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、オンライン講座に変更し開催した。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2022年8月2日(月)

開催形式：オンライン講座

講師：黒田 義道氏(京都女子大学発達教育学部児童学科准教授)

参加人数：91名(内加盟園参加者37名)

④ 新任研修会

各園の新任職員を対象に、保育の新たな視点や仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義について学ぶことを目的に開催した。

対象：1年目の保育者

期間：2022年11月4日(金)～6日(日)

会場：真宗本廟・同朋会館

講師：田村 晃徳氏(真宗保育研究所長・田尻徳風保育園園長)

高山 耕 氏(研修部長、認定こども園みのり園長)

本田 康英氏(保育心理士主幹・明德保育園園長)

参加人数：17名

⑤ 主任・中堅保育者研修会(奉仕団)

主任・中堅保育者を対象に、真宗本廟を会場とし、2泊3日の研修会を行った。

対象：主任・中堅保育者(保育経験5年以上)

期間：2023年6月9日(金)～11日(日)

会場：真宗本廟・同朋会館

講師：佐賀枝夏文氏

参加人数：6名

⑥ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催した。

対象：保育者

期 日：2022年10月22日(土)

形 式：オンライン開催

講師：富岡 量秀氏(大谷大学 教育学部教授)

参加人数：25名

⑦ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修(新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会)のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を検討した。

⑧ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めた。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指し、また、2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き一種資格への誘導を促進した。併せて年会費徴収の向上を促進した。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組んだ。

(1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、修了式日程以外の科目についてオンライン開催に変更し開催した。

【本部主催資格取得講座】

①京都会場

《第1～6日程》

形式：オンライン開催

期日：2022年7月10日(日)、7月24日(日)、8月7日(日)、
8月14日(日)、8月21日(日)、8月28日(日)

《修了式日程》

形式：対面型開催

場所：真宗大谷派宗務所

期日：2022年9月11日(日)

②名古屋会場(2022年)

《第1～6日程》

形式：オンライン開催

期日：2022年7月16日(土)、7月23日(土)、7月30日(土)、
8月6日(土)、8月13日(土)、8月20日(土)

《修了式日程》

形式：対面型開催

場所：同朋大学 成徳館

期日：2022年9月10日(土)

③東京・九州会場

《第1～6日程》

形式：オンライン開催

期日：2022年9月17日(土)、10月1日(土)、10月15日(土)、
10月29日(土)、11月12日(土)、12月3日(土)

《九州会場修了式日程》

期日：2022年12月4日(日)

会場：九州大谷短期大学

《東京会場修了式日程》

期 日：2022年12月11日（日）

会 場：親鸞仏教センター

④名古屋会場(2023年)

《第1～4日程》

会 場：同朋大学 成徳館

期 日：2022年5月27日(土)、28日(日)、6月17日(土)、18日(日)

【本部主催フォローアップ講座】

①保育心理士フォローアップ講座

期 日：2022年9月3日（土）

講 師：牧野 敬一氏（保育心理士会代表、大分子ども発達支援研究所長）

内 容：保育言語士養成B日程

形 式：オンライン開催

②保育心理士フォローアップ講座

期 日：2022年12月24日（土）

講 師：牧野 敬一氏（保育心理士会代表、大分子ども発達支援研究所長）

内 容：配慮に必要な子どもへの対応

形 式：オンライン開催

③保育心理士フォローアップ講座

期 日：2023年6月25日（日）

講 師：脇淵 徹映氏（〈公社〉大谷保育協会顧問・保育心理士資格認定委員）

内 容：「保育の学び」

形 式：オンライン開催

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

(3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

期 日：2022年9月12日・2023年2月28日
会 場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第15回保育心理研究会と併催

期 日：2023年1月22日

【保育心理士講師集会】

今年度開催なし

【保育心理士会幹事会】

期日：2022年10月14日・2023年2月7日・2023年5月24日

【エリアマネージャー会議】

期 日：2023年1月21日
会 場：真宗大谷派宗務所

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期 日：2023年2月28日
形 式：オンライン開催

③ 保育心理士（一種・二種）養成校との協議会

必要に応じて開催

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷い、当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供に努めた。

（1）機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」を頒布した。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。
- ② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

（2）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を行った。

引き続き、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図っていく。

（3）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて「園児絵画展」を開催した。

期 間：2022年11月12日（土）～11月28日（月）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

（4）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結した。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報活動を行う。

（5）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（6）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

（7）子どものつどい in 東本願寺への参加

期 日：2023年5月5日（金・祝）

遊ブース（公社）大谷保育協会出展内容：防災ワークショップ

協 力：株式会社アンプラージュインターナショナル(UPI)

参加人数：4,000名

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。

（1）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（2）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

（3）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（4）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（5）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（6）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターを制作し、発行した。

（7）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送付した。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送付した。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送付した。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送付した。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、当協会の活動を広く世間に知らせていく。

（1）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

（2）協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。

また、協会のICTインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

また社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行した。

（3）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供した。

（4）協会をPRするパンフレット等の作成

当協会の活動を広くPRするため、パンフレット等の作成を行う。

（5）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行った。

（6）常務理事会に関する事項

期日：2022年10月24日、12月13日、2月13日、5月11日

（7）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第26回（事業報告・決算承認）

期日：2022年8月29日（月）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第27回（任期満了に伴う理事・監事改選）

期日：2022年9月13日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第28回（次年度予算・事業計画）

期日：2023年5月開催予定／会場：真宗大谷派宗務所

第11回総会

期日：2022年9月13日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催した。

(8) 諸会議に関する事項

① 正副部所長会

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行った。

期日：2023年2月13日

② 慶讃法要に向けた事業構築のためのプロジェクト

2022年10月4日 第7回慶讃事業プロジェクト会議

2022年10月21日 第8回慶讃事業プロジェクト会議

2022年11月10日 第9回慶讃事業プロジェクト会議

2022年12月8日 第10回慶讃事業プロジェクト会議

2023年1月24日 第11回慶讃事業プロジェクト会議

2023年2月21日 第12回慶讃事業プロジェクト会議

2023年3月20日 第13回慶讃事業プロジェクト会議

2023年4月21日 会場設営・リハーサル

その他 配信業者との打ち合わせ(全2回)

子どもの遊びブースにおける協力業者との打ち合わせ(全3回)

記念教材企画会議(全4回)

③ 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催

④ 新型コロナウイルス対応